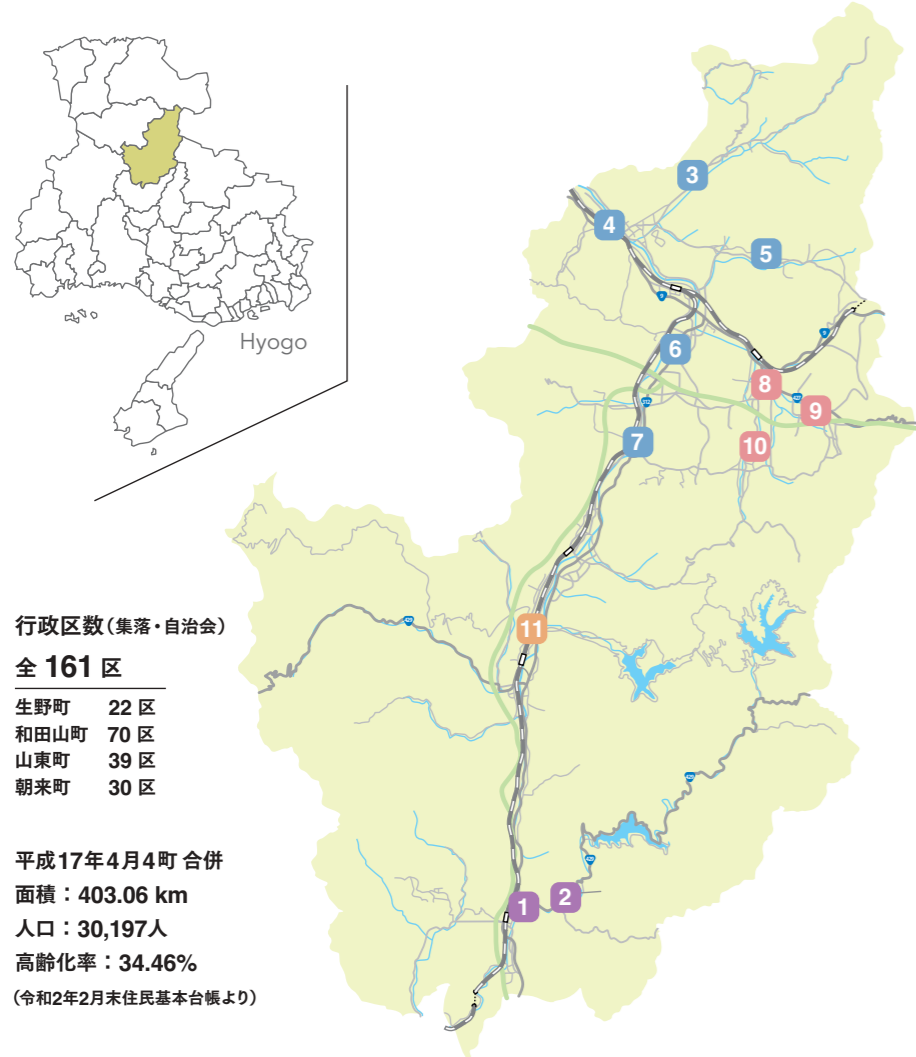


市内の地域自治協議会



行政区数(集落・自治会)
全 161 区
 生野町 22 区
 和田山町 70 区
 山東町 39 区
 朝来町 30 区

平成17年4月4町合併
 面積：403.06 km²
 人口：30,197人
 高齢化率：34.46%
(令和2年2月末住民基本台帳より)

- 生野町**
 - 1 生野 いくの地域自治協議会
 - 2 奥銀谷 奥銀谷地域自治協議会
- 和田山町**
 - 3 糸井 糸井地域自治協議会
 - 4 大蔵 大蔵地域自治協議会
 - 5 東河 東河地区協議会
 - 6 和田山 和田山地区地域自治協議会
 - 7 竹田 竹田地域自治協議会
- 山東町**
 - 8 梁瀬 梁瀬地域自治協議会
 - 9 粟鹿 粟鹿地域自治協議会
 - 10 与布土 与布土地域自治協議会
- 朝来町**
 - 11 中川 朝来地域自治協議会
 - 11 山口 朝来地域自治協議会



市民と行政 地域協働のまちづくり

地域自治協議会

ひとことと言いつつ
 『市民が主役』の
 まちづくり
 プラットフォーム



生野銀山を中心とした鉱山町の趣が町並みにいまなお色濃く残る地域



天空の城 竹田城跡があり 朝来市内で人口が最も多い地域



自然豊かな田園風景が広がり 一方で懐かしい商店の雰囲気も残る地域



あさご芸術の森美術館や鉱山関連遺構「神子畑選鉱場」なども注目の地域



朝来市のシティプロモーションは、まちに関わる「あなた」が主役です。モノや文化、自然や景観はもちろん。ここに暮らし、まちを愛し、現在進行形でまちのために活動している市民一人ひとりが何よりも魅力です。「あなた」が主役となり、まちの魅力を届けていける。そんなシティプロモーションをめざしています。



朝来市役所まちづくり協働部市民協働課

〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷 213 番地 1
 電話：079-672-3065 FAX：079-672-4041 メール：kyodo@city.asago.lg.jp

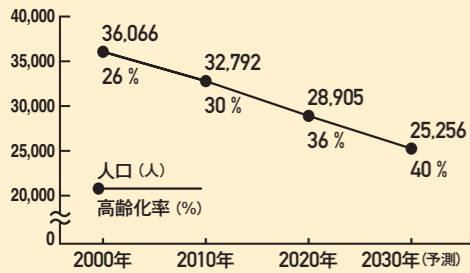
特に地方のまちには「少子高齢化」の波で課題が山積み。担い手が減少し、地域の維持ができない地区も。これから先の未来を考えようとした時に「市民」の皆さんが腰を据えて「まちづくり」に取り組める仕組みが不足していることに気がつきました。そこで、すでにコミュニティが形成されている小学校区を基本の単位とし「市民が主役」になれる新たな地域自治組織を作り、「思いを共有」・「役割分担」しながら「協働のまちづくり」を目指して設立されたのが朝来市の「地域自治協議会」です。

持続的な朝来市の暮らしを目指して 地域自治協議会設立

地域・集落 旧4町合併当時の状況

161ある行政区(区)のうち、いくつかの区が数年後には区民の減少により活動できなくなると予想されました。今後さらに少子高齢化が進み、高齢化率50%を超える「限界集落」も年々増加する中で、地域の担い手不足、住民の生活形態の多様化など、今のままでは地域が立ち行かなくなる、地域自治の限界がみえてきました。

朝来市の人口の推移(予測)



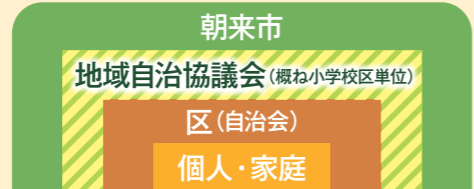
新たな地域自治組織の検討

こうした状況のなか、地域と対話しながら「区と行政」の間を補完する組織の検討がおこなわれました。

組織に求められる条件

- ① 地域内で自立して考え行動する
- ② 「区と行政」との橋渡し役として地域課題に連携して取り組む
- ③ 区の垣根を超え スケールメリットを活かして特色ある地域づくりに取り組む

地域自治協議会 補完のイメージ



地域自治協議会の設立

組織設立を目指し、住民主体で合意形成に向けて動き始め、平成19年度・20年度に全11の地域で「地域自治協議会」が設立されました。

設立後は、地域自治協議会が基盤となり、その地域の特色を活かした「地域経営」がおこなわれ、生涯学習の場の提供や、暮らしに必要な課題解決に取り組むなど、現在では多くの役割をもつ組織へと成長しています。



地域自治協議会への市からの支援

活動拠点の支援

- 市が保有する施設を無償で貸与
- 設備拡充・修繕などを助成

活動資金の支援

- 地域自治包括交付金(平成20年度～)
地域の創意工夫・地域の判断と責任で執行

《交付金の内容》

- 協議会実施事業費
- 地域づくり補助事業
- 区コミュニティ活動助成事業
- 地域協働事業 37万円(平均)

380万円(平均)

事務局員雇用の支援

- 事務局運営費 280万円(2~3名雇用)

住民の意見やニーズ調査を取り入れる

住民アンケートや座談会の開催により、対話を通して意見やニーズを積極的に取り入れ「自分たちで決め、自分たちで担う」という地域力の向上を支援。また、地域自治協議会向けの研修会も開催しています。



地域おこし協力隊制度の活用

平成26年度より「地域おこし協力隊」制度で都市部から地域が求める人材を募集。地域自治協議会に所属して、地域が求めるミッションに取り組んでいます。



市職員 プレイヤーから「地域経営」のサポーターへ

「まちづくり計画の改定」などをおこなう場合に、市職員は「データ収集・分析」や「補助金の紹介」、「申請書の書き方」など地域経営のサポートをおこなっています。



リサイクル品・廃品回収

奥銀谷地域自治協議会

小学校や中学校でPTAや保護者が中心に実施されることが多いリサイクル品・廃品回収を、児童生徒数の減少に伴い地域自治協議会で実施。その他地域の清掃やオオサンショウウオが棲む市川源流域の環境保全のための清掃・啓発活動なども「地域ぐるみ」で実施しています。



手作りペットボトルツリー

和田山地区地域自治協議会

2014年から手作りの「ペットボトルツリー」をクリスマスの時期に毎年、設置。全体でおよそ2000本のペットボトルを使い、それぞれ赤や青のカラーセロハンを貼り付け、クリスマスの雰囲気を盛り上げます。

環境・景観

地域教育

地域自治協議会 活動事例



喫茶バンビ

粟鹿地域自治協議会

豆からひいた香り豊かな本格コーヒーを、お菓子付き100円で提供。月・水・金の営業のほかに、毎週木曜日には昔の童謡などをみんなで歌う『うたごえ喫茶』が開かれており、幅広く地域のみなさんが訪れています。月平均260人が来客。



高齢者健康教室「笑おう会」



『おしゃべりカフェ「ひまわり」』

高齢者健康教室「笑おう会」・『おしゃべりカフェ「ひまわり」』

大蔵地域自治協議会

高齢者の介護予防・健康維持には「生活の中に笑いが必要」と、医師による講話や、健康体操などを実施。また、「おしゃべりカフェ」では、お茶とお菓子を楽しみながら、歌や工作、おしゃべりにも花が咲き、笑い声がたえません。

健康・福祉

農業・産業



土曜チャレンジ学習

糸井地域自治協議会

主に小学生を対象にした「ふるさと教育」事業。将来、地域にUターンをしてもらいたいとの思いから、川の「生き物観察会」や、ヒメボタル鑑賞、床尾山登山など年間10回を通して、地域の子供たちに地域の原風景を伝えています。



あさごキッズタウン

朝来地域自治協議会

主に小学生向けの職業体験のイベント。楽しみながら仕事の大変さやお金の大切さを学ぶ。自身の職歴を活かしたお母さんたちによる体験や、本物の警察官や、消防団による体験など様々な仕事を通して、専用通貨を集め、会場内で買い物もできます。



神戸元町商店街での特産品販売

地域自治協議会連合会

各地域自治協議会が連携する「協議会連合会」が主催し、それぞれ地域の特産品を持ち寄り、神戸元町商店街で販売。都市部においても、地域のPR活動をおこなっています。



耕作放棄地調査

与布土地域自治協議会

農業の担い手の高齢化などにより、数年以内に作付けの予定がない農地「耕作放棄地」が地域内で増加しています。その実態を調査・認識するため、耕作放棄地のレベルに応じて色付けした図面を作成し、座談会などで今後の在り方を話し合っています。